



株式会社すかいらーく
2018年第1四半期
決算補足資料

2018年5月10日

2018年第1四半期 業績ハイライト



- ◆ 2018年第1四半期は約2%の増収を達成した一方、営業利益は約11%減少した。ただし、これは当初からの想定範囲内であり、引き続き年間業績予想達成を目指す
- ◆ 会計方針の変更があり過去業績への遡及適用を行った結果、2017年期首の利益剰余金及び2017年の当期利益に変更があった（詳細はp.5記載のとおり）

	2018年Q1 (3ヶ月)	前年比%	2017年Q1 (3ヶ月)	前年比%
売上高	901億円	2.2%	881億円	1.3%
既存店売上高		0.0%		0.5%
既存店客数		(1.3)%		(1.2)%
既存店客単価		1.3%		1.6%
営業利益	56億円	(11.3)%	63億円	2.1%
調整後当期利益	31億円	(15.6)%	37億円	10.8%
店舗展開	リモデル88店、ブランド転換8店、新規出店33店			

2018年第1四半期 要約PL



	2018年第1四半期		2017年第1四半期		増減	
	億円	売上比	億円	売上比	億円	前年同期比
売上高	901	100.0%	881	100.0%	20	102.2%
既存店売上成長率	0.0%	-	0.5%	-	(0.5)%	-
客数	(1.3)%	-	(1.2)%	-	(0.1)%	-
客単価	1.3%	-	1.6%	-	(0.4)%	-
売上総利益	626	69.5%	615	69.8%	11	101.9%
人件費	305	33.9%	300	34.0%	(6)	101.9%
その他販管費	266	29.5%	253	28.7%	(13)	105.1%
営業利益	56	6.2%	63	7.1%	(7)	88.7%
税引前利益	45	4.9%	51	5.8%	(7)	87.2%
当期利益	28	3.1%	33	3.8%	(5)	84.5%
EBITDA	90	10.0%	96	10.9%	(6)	93.5%
調整後EBITDA	97	10.7%	101	11.5%	(5)	95.3%
調整後当期利益	31	3.4%	37	4.2%	(6)	83.2%
調整後ROE	13.5%	-	17.0%	-	(3.5)%	-

*1 既存店定義: 日本国内の13ヶ月経過店舗、ブランド転換店含む、株主優待券の値引き分は含まない
客数はデリバリー含む(デリバリー売上高をイートイン客単価で割ったものをデリバリー客数としている)

*2 ROEは直近12ヶ月の数値

*3 上記PLは、IFRS9(2014)適用に伴う遡及修正後の数値



2017年第1四半期以降 営業利益推移

(億円)	2017年			2018年	
	Q1-Q3	Q4	通期実績	Q1	通期予想
前年営業利益	238	74	312	63	281
① 既存店	2	(12)	(10)	0	19
② 非既存店	1	1	2	2	16
③ 人件費単価増影響	(17)	(7)	(24)	(5)	(23)
④ 株主優待引当	(7)	(12)	(19)	(1)	(2)
⑤ その他	13	7	20	(2)	(4)
計	(8)	(23)	(31)	(7)	6
当年営業利益	230	51	281	56	287
既存店売上高前年比	100.9%	97.4%	100.0%	100.0%	101.0%
新規出店数	68	29	97	33	100

① 既存店

2017年Q4以降に店舗運営安定化を目的として割引クーポン数を削減した影響や、1月・2月の悪天候の影響を受けながらも、前年比100%の既存店実績を維持

② 非既存店

2017年以降強化している新規出店による利益貢献は、2018年Q2以降さらに増加する見込み

2018年Q1の新規出店は33店と計画通りに進捗し、年間出店数は計100店程度を想定

③ 人件費単価増影響

アルバイト時給単価が前年同期と比較して上昇（2017年、初任時給が全国的に上昇した影響）。2018年に入り、時給単価上昇はスローダウン

④ 株主優待引当

2017年、制度拡充（従来の約3倍）と株主数増加（2016年末約12万人⇒2017年末約37万人）により、引当コストが大幅に増加

2018年、この影響は一巡し、2017年ほどの大幅な引当コスト増は見込んでいない

⑤ その他

2017年Q1に発生した受取補償金が2018年Q1には未発生であった など（ガイダンス織込み済み）

2018年第1四半期 店舗開発の進捗



店舗開発は計画通りに進捗

新規出店：新業態を中心に33店実施。「から好し」は24店舗に急増

業態転換：「から好し」の5店ほか、計8店実施

リモデル：88店実施。うち、夢庵・藍屋の和食業態リモデルが33店

ブランド	新規出店	転換	閉店	3月末 店舗数	リモデル
から好し	15	5	-	24	-
しゃぶ葉	6	-	-	187	-
むさしの森珈琲	4	-	-	21	-
フロプロステージュ	2	-	(4)	112	1
台湾	2	-	-	54	2
ガスト	1	-	-	1,368	34
ステーキガスト	1	-	-	138	4
chawan	1	-	-	17	-
夢庵	-	-	(1)	193	21
藍屋	-	-	-	47	12
ジョナサン	-	-	(1)	300	4
バーミヤン	-	-	-	332	5
その他	1	3	-	379	5
グループ店舗数	33	8	(6)	3,172 前期末比+28	88

会計方針の変更における過去業績への遡及適用について



- IFRS 第9号（2014）の適用に伴い、借入金条件変更に関する会計方針を変更
 - 変更対象：2014年および2015年実施の借入条件変更（借入金利の引き下げ）
 - 変更内容：借入金利の引下げによって得られる利得の計上方法が変わる

	旧・会計処理	新・会計処理
条件変更時	—	借入期間中に享受する利息低減額を「 条件変更益 」として計上
毎期の利息計上額	条件変更 後 の利率に基づき、支払利息を算出し費用計上	条件変更 前 の利率に基づき、支払利息を算出し費用計上

- 影響額： 2017年期首で遡及適用し、①2017年期首の利益剰余金調整（33億円増加）、②2017年当期利益額修正（14億円減少）を行う
 - 2017年～2019年に見込んでいた借入条件変更による当期利益影響額（計33億円）を2017年期首の利益剰余金へ調整を行うもの

2017年実績

（億円）

	期首利益剰余金	売上高	営業利益	当期利益	調整後当期利益	ROE	調整後ROE	自己資本比率
遡及適用前	542	3,594	281	169	169	14.1%	14.1%	39.3%
遡及適用後	575	3,594	281	155	169	12.7%	13.8%	40.0%
増減	+33	—	—	(14)	—	- 1.4%	- 0.3%	+ 0.7%

- 売上高、営業利益は変更なし
- 遡及適用による修正額14億円は利益調整項目となり、調整後当期利益は変更なし

■ 2018年配当方針：調整後当期利益の40%を目標

1株当たり年間配当金推移（円）

2014年	2015年	2016年	2017年	2018年予想
13.52	33.00	38.00	38.00	38.00

■ 株主優待券の仕様を変更

- ✓ 紙の冊子で贈呈している優待券を2018年6月末日基準日以降カード仕様に変更
- ✓ なお、株主優待制度内容の変更予定はない

500円券



3種類のカード



※詳細については当社ホームページをご覧ください

<https://www.skylark.co.jp/company/news/index.html>

■ のれん：減損リスクは極めて低い

- ✓ 2018年3月末：のれん約1,461億円
 - 他社を買収したことによるものではなく、ベインキャピタルが当社の株主になったことで発生したもの
- ✓ 多額の減損リスクの可能性は極めて低い
 - キャッシュフローが非常に強固であること、のれんは各業態に按分されており、各業態の収益が堅調であるため

■ 借入金：残高水準は健全なレベル

- ✓ 2018年3月末：借入金約1,296億円
 - 大半は2011年にベインキャピタルが当社の株主になった際に発生したLBOローン
- ✓ 純有利子負債残高を調整後EBITDAで除した倍率は約2.7倍程度
 - 低金利の環境下では、借入金による資金調達コストは株主へのリターンよりも低い水準であり、有利子負債残高の水準は健全なレベル



Appendix

店舗開発の進捗



2017年12月末から2018年3月末までの店舗数推移

ブランド	2017年 12月末	新店	ブランド 転換 (+)	ブランド 転換 (-)	閉店	転換準備 の閉店	2018年 3月末	増減	リモ デル
 ガスト	1,367	1	-	-	-	-	1,368	1	34
 ジョナサン	301	-	-	-	(1)	-	300	(1)	4
 バーミヤン	332	-	-	-	-	-	332	-	5
 夢庵	194	-	-	-	(1)	-	193	(1)	21
 しゃぶ葉	181	6	-	-	-	-	187	6	-
 ステーキ ガスト	137	1	-	-	-	-	138	1	4
その他	632	25	8	(7)	(4)	1	655	23	20
合計	3,144	33	8	(7)	(6)	1	3,173	29	88

遡及適用の2017年財務数値への影響



(億円)

	2016年 通期	2017年				
		期首	Q1	Q2累計	Q3累計	通期
(遡及修正前)						
利益剰余金	542	542	534	575	626	655
当期利益	182		37	78	141	169
調整後当期利益	182		37	78	141	169
ROE	16.8%		17.3%	16.3%	16.0%	14.1%
調整後ROE	16.8%		17.3%	16.3%	16.0%	14.1%
自己資本比率	35.9%		36.6%	37.5%	39.0%	39.3%
(遡及修正後)						
利益剰余金	542	575	563	601	649	674
当期利益	182		33	71	130	155
調整後当期利益	182		37	78	141	169
ROE	16.8%		16.7%	15.5%	14.9%	12.7%
調整後ROE	16.8%		17.0%	16.1%	15.8%	13.8%
自己資本比率	35.9%		37.7%	38.4%	39.8%	40.0%
(増減)						
利益剰余金	-	33	29	26	23	19
当期利益	-	-	(4)	(7)	(10)	(14)
調整後当期利益	-	-	-	-	-	-
ROE	-	-	(0.6)%	(0.8)%	(1.0)%	(1.4)%
調整後ROE	-	-	(0.2)%	(0.2)%	(0.2)%	(0.3)%
自己資本比率	-	-	1.1%	0.9%	0.8%	0.7%

免責事項

本資料は、当社グループについての一般的な情報提供を目的としており、当社の発行する株式その他の有価証券への投資の勧誘を目的とするものではありません。

本資料に記載される業界、市場動向または経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、当社がその真実性、正確性、合理性及び網羅性について保証するものではありません。

また、本資料に記載される当社グループの計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、現時点における当社の判断又は考えにすぎず、実際の当社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、経済情勢、外食産業の市場動向、消費者の嗜好の変化、原材料価格の変動等により、本資料記載の内容またはそこから推測される内容と大きく異なることがあります。